

(5) トイレをどうする

大きな地震の後は、トイレの水を流さないでください。
災害対策本部からトイレ排水の許可が出るまでは、
トイレパックを使用してください。

トイレパック（凝固剤タイプ）の使い方

トイレパック（汚物袋、凝固剤）、45 L ポリ袋を用意する。

便座を上げ、45 L ポリ袋を便器にかぶせる



便座を下げ、汚物袋を便座の上からかぶせる



用を足す



凝固剤を入れる



汚物袋だけを取り外し、袋の口をしっかりと縛る



防臭袋、ふた付きのごみ箱などに入れ、
ごみの収集が再開するまで各住戸で保管する。

トイレパックと一緒に備えておく物

LED ランタン、手拭き用のウェットティッシュ、45 L ポリ袋、
防臭袋などを一緒に備えておく。トイレットペーパーは普段か
ら少し多めに（1 カ月分ほど）備蓄する。

- ★大地震の時は、排水管に損傷がないことが確認されるまでは、トイレ、洗面所、浴室、キッチン、洗濯機の排水は全て禁止となります。地震の後はトイレの水は流さず、トイレパックを使ってください。
- ★排水ができるかどうかの確認は、災害対策本部の最優先の仕事となります。まず 1 階のお宅に、トイレ排水確認のご協力をいただいた後、可能な場合は、排水管の立管と、地下の集合管の健全性を外観でチェックします。特に問題が見つからなければ、排水システムは健全と判断し、災害対策本部よりトイレ使用の許可が全戸に出されます。
- ★排水システムの確認は時間がかかることが予想されるので、各住戸でトイレパックの備蓄（3 日以上、できれば 7 日分）をしてください。
- ★トイレパックは、凝固剤タイプ、給水シートタイプがあり、大型スーパー、ホームセンター、ネットショップなどで購入できます。非常用トイレ、携帯トイレなどの名前で販売されていることもあります。製品によって使い方が異なるので、説明書を確認してから使いましょう。
- ★トイレパックを使う時、先に 45 L のポリ袋を便器にかぶせ、便座の上から汚物袋をかぶせる形にすると、汚物袋の取り外しが楽に行えます。
- ★停電に備えて、トイレ専用のライトを用意しておくとう便利です。両手が空き、トイレ内全体を照らすことができる LED ランタンがおすすめです。
- ★手洗いができない場合に備えて、ウェットティッシュ、アルコール消毒液などを用意しておきましょう。
- ★使用後のトイレパックは、燃やすごみになります。他の燃やすごみとは別の袋にまとめ、ごみの収集が再開されるまで、各住戸のベランダなどで保管してください。保管の際は臭いを抑えるため、防臭袋、ふた付きのごみ箱などを使用してください。
- ★大地震の直後はごみの収集が停止されるため、ごみコンテナを閉鎖します。ごみの収集が再開されるまで、ごみは全て各住戸で保管となります。